

第 10 章 昼夜間人口比率

1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は 91.7、前回比 0.2 ポイント上昇

横浜市における昼間人口は 3,416,060 人となっており、昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 91.7 で、前回比 0.2 ポイント上昇しています。

また、平成 2 年以降、上昇傾向となっています。

【表 10-1、図 10-1】

表 10-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（昭和 45 年～平成 27 年）

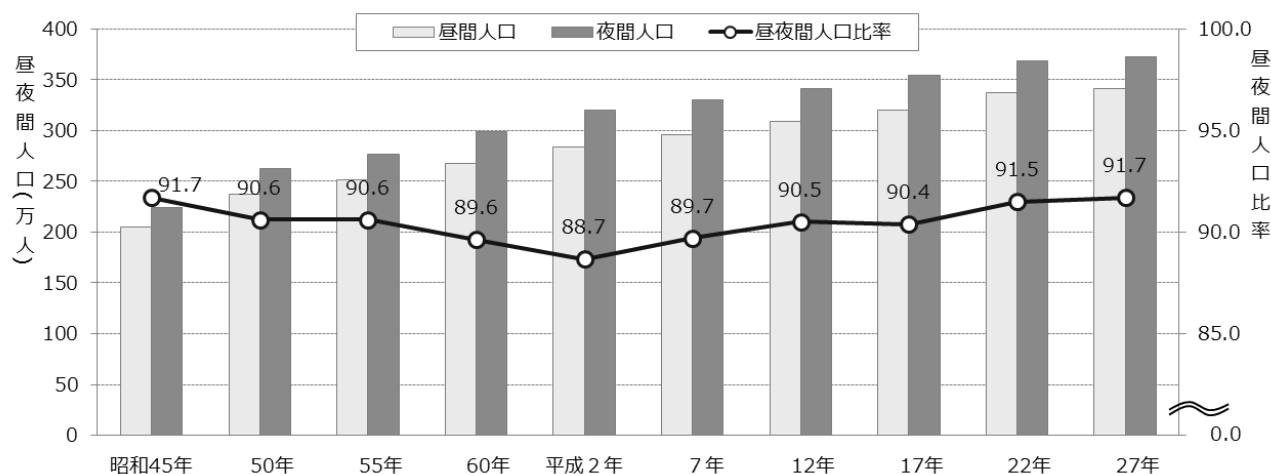
年次	昼間人口 A 1)	夜間人口 (常住人口) B 1)	流出口 C 2)	流入人口 D 2)	流入超過 人口 D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100
昭和45年	2,052,714	2,238,264	393,135	207,585	△185,550	91.7
50年	2,375,994	2,621,771	486,023	240,246	△245,777	90.6
55年	2,510,830	2,770,880	536,465	276,415	△260,050	90.6
60年	2,680,333	2,990,133	625,723	315,923	△309,800	89.6
平成 2 年	2,840,252	3,203,195	745,332	382,389	△362,943	88.7
7 年	2,963,872	3,303,708	760,326	420,490	△339,836	89.7
12年	3,091,166	3,414,860	730,625	406,931	△323,694	90.5
17年	3,205,144	3,545,447	739,648	399,345	△340,303	90.4
22年	3,375,330	3,688,773	723,741	410,298	△313,443	91.5
27年	3,416,060	3,724,844	727,015	418,231	△308,784	91.7

1) 昭和55年～平成17年は、年齢不詳のものを集計から除いている。

このため、夜間人口（常住人口）と国勢調査確定人口とは一致しないことがある。

2) 昭和45年～50年は、15歳未満を含まない。また、行政区間の移動を含まない。

図 10-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（昭和 45 年～平成 27 年）



2 行政区別昼夜間人口比率

行政区別昼夜間人口比率は西区、中区、神奈川区で100を超え、他15区は100を下回る

昼間人口を行政区別にみると、港北区が321,887人と最も多く、次いで鶴見区が256,228人、戸塚区が240,167人となっています。

昼夜間人口比率を行政区別にみると、西区が186.0と最も高く、次いで中区(161.2)、神奈川区(100.1)となっており、他15区は100を下回っています。前回調査と比べると、西区(6.3ポイント上昇)、栄区(2.5ポイント上昇)など11区で上昇し、中区(5.4ポイント低下)、鶴見区(2.2ポイント低下)など7区で低下しています。

【表10-2、図10-2】

表10-2 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—行政区 (平成27年)

行政区	昼間人口 A	夜間人口 (常住人口) B	流出人口			流入人口		
			総数 C	就業者	通学者	総数 D	就業者	通学者
横浜市	3,416,060	3,724,844	727,015	637,479	89,536	418,231	360,190	58,041
鶴見区	256,228	285,356	92,302	83,257	9,045	63,174	56,067	7,107
神奈川区	239,244	238,966	83,471	74,425	9,046	83,749	67,008	16,741
西区	183,315	98,532	33,976	30,161	3,815	118,759	112,597	6,162
中区	239,067	148,312	36,467	31,569	4,898	127,222	117,649	9,573
南区	155,922	194,827	64,601	57,627	6,974	25,696	20,305	5,391
港南区	172,449	215,736	73,923	64,401	9,522	30,636	27,303	3,333
保土ヶ谷区	174,863	205,493	70,633	61,789	8,844	40,003	32,026	7,977
旭区	197,752	247,144	78,522	68,979	9,543	29,130	24,690	4,440
磯子区	138,339	166,229	58,022	51,217	6,805	30,132	27,498	2,634
金沢区	191,207	202,229	61,439	53,343	8,096	50,417	40,589	9,828
港北区	321,887	344,172	119,609	104,864	14,745	97,324	80,823	16,501
緑区	146,608	180,366	65,175	56,967	8,208	31,417	23,719	7,698
青葉区	236,079	309,692	116,442	96,878	19,564	42,829	34,020	8,809
都筑区	200,667	211,751	71,750	59,320	12,430	60,666	55,422	5,244
戸塚区	240,167	275,283	89,948	77,486	12,462	54,832	46,361	8,471
栄区	98,138	122,171	42,191	36,718	5,473	18,158	14,586	3,572
泉区	119,946	154,025	52,916	45,445	7,471	18,837	15,421	3,416
瀬谷区	104,182	124,560	39,318	34,614	4,704	18,940	15,687	3,253

※カッコ内は順位

行政区	流入超過 人口 D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100	※カッコ内は順位 (参考)	
			平成22年 昼夜間 人口比率	平成22年 ~27年 ポイント差
			横浜市	△308,784
鶴見区	△29,128	89.8	92.0	△2.2
神奈川区	278	100.1	99.9	0.2
西区	84,783	186.0	179.7	6.3
中区	90,755	161.2	166.6	△5.4
南区	△38,905	80.0	78.7	1.3
港南区	△43,287	79.9	78.4	1.5
保土ヶ谷区	△30,630	85.1	84.0	1.1
旭区	△49,392	80.0	78.8	1.2
磯子区	△27,890	83.2	83.8	△0.6
金沢区	△11,022	94.5	93.5	1.0
港北区	△22,285	93.5	94.0	△0.5
緑区	△33,758	81.3	82.6	△1.3
青葉区	△73,613	76.2	77.2	△1.0
都筑区	△11,084	94.8	96.4	△1.6
戸塚区	△35,116	87.2	87.0	0.2
栄区	△24,033	80.3	77.8	2.5
泉区	△34,079	77.9	77.8	0.1
瀬谷区	△20,378	83.6	82.1	1.5

図10-2 行政区別昼夜間人口比率 (平成27年)

